

令和7年度（2025年度）

管理事業名	し尿処理事業				総合計画 の体系		大綱 5 環境			
							政策 1	環境先進都市のまちづくり		
							施策 2	資源を大切に作る社会システムの形成		
主な歳出 予算科目	一般会計	(款)	4	衛生費	(項)	2	清掃費	(目)	3	し尿処理費
部局名	環境部	予算執行 所属		事業課						

事業の目的と概要

【目的】

・廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）及び浄化槽法に基づき、し尿及び浄化槽汚泥等を適切に処理することにより、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図ることを目的としている。

【概要】

・し尿収集運搬処理事業（汲取家庭及び仮設トイレのし尿収集運搬、浄化槽汚泥等の搬入及び許可、浄化槽保守点検業登録簿作成）

・事業課業務グループ庁舎施設管理事業（事業課業務グループ庁舎の維持管理業務）

・公衆便所維持管理事業（高浜神社内公衆便所の維持管理業務）

I 成果指標（活動指標）

指 標 名	単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度	指 標 の 定 義
し尿収集延件数	件	4,970	3,635	2,860	年間し尿収集延件数
浄化槽汚泥等搬入延件数	件	412	416	392	年間浄化槽汚泥等搬入延件数

II 活動実績・成果

【成果指標1】 し尿収集延件数についての評価 ・し尿収集は、地域ごとに収集日を定めた2週間に1回の定曜日収集とあわせて、工事現場等の仮設トイレの収集を行う。 ・令和7年度のし尿収集延件数は、2,860件(前年度比：775件減) 内訳として、一般家庭509件減、仮設トイレ266件減 【成果指標2】 浄化槽汚泥等搬入延件数についての評価 ・浄化槽清掃業許可業者から清掃届を受付け、汚泥等の搬入を行う。 清掃回数は年度により変動があり、令和7年度の浄化槽汚泥等搬入延件数は、392件(前年度比：24件減)	【財務情報に基づいた評価】 ・経常費用の構成割合は、給与関係費57,819千円の占める割合が高く、ほか物件費29,223千円、負担金・補助金・交付金等6,419千円、減価償却費5,436千円などとなっている。 ・物件費の主な内訳として、委託料が27,514千円で多くを占め、主な内容はし尿収集運搬業務委託料が26,004千円、庁舎機械警備業務委託料などの施設管理委託料が1,280千円となっている。 ・経常収入の内訳については、使用料及び手数料のし尿処理手数料が4,851千円、一般廃棄物処理業許可申請手数料170千円（隔年更新次回R9）、浄化槽清掃業許可申請手数料170千円（隔年更新次回R9）、許可書再交付手数料0千円、浄化槽保守点検業登録申請審査手数料623千円、登録証書換え申請審査手数料3千円となっている。 ・分析指標の施設老朽化比率は96.1%で、事業課業務グループ庁舎の老朽化率は高い。
--	---

III 課題と今後の取組

本事業は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）及び浄化槽法に基づき、し尿及び浄化槽汚泥等を適正に処理し、「生活環境の保全及び公衆衛生の向上」を果たすため、市の責務として必要である。公共下水道普及に伴い、し尿収集件数や収集量が減少していく中で、し尿収集運搬業務の全面委託やし尿処理施設の廃止など、トータルコストの削減や事業の効率化を図っている。今後も、し尿収集体制の確保や浄化槽汚泥等の受入れなど安定的で継続可能な事業運営が重要である。	事業課業務グループ庁舎は平成15年度末で廃止となった旧化学処理場（し尿処理施設）を使用しており、建設後50年が経過していることから、建替えや大規模改修が必要である。
---	--

IV 財務情報

◆貸借対照表【BS】

(単位：千円)

勘定科目	令和6年度末 A	令和7年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和6年度末 A	令和7年度末 B	差額 B-A
流動資産				流動負債	5,050	5,441	391
現金預金	-	-	-	地方債	-	-	-
未収金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	5,050	5,441	391
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
固定資産				固定負債	43,008	46,616	3,608
有形固定資産	159,663	154,227	△5,436	地方債	-	-	-
土地	134,145	134,145	-	長期借入金	-	-	-
建物・工作物	25,517	20,082	△5,436	退職手当引当金	43,008	46,616	3,608
リース資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
無形固定資産	50	50	-	負債の部合計	48,058	52,057	3,999
有形固定資産	-	-	-	純資産	111,655	102,220	△9,434
土地	-	-	-	地方債	-	-	-
建物・工作物	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	退職手当引当金	43,008	46,616	3,608
重要物品	-	-	-	リース債務	-	-	-
図書館資料	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
投資その他の資産	-	-	-	負債及び純資産の部合計	159,713	154,277	△5,436
出資金	-	-	-				
長期貸付金	-	-	-				
基金	-	-	-				
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				
資産の部合計	159,713	154,277	△5,436				

◆行政コスト計算書【PL】

(単位：千円)

勘定科目	令和5年度	令和6年度 A	令和7年度 B	差額 B-A
経常収入				
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	5,085	4,809	5,817	1,008
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	44	-	-	-
経常収入 小計(a)	5,129	4,809	5,817	1,008
経常費用				
給与関係費	53,577	54,883	57,819	2,936
物件費	29,416	33,470	29,223	△4,247
維持補修費	297	1,312	284	△1,029
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	6,993	6,643	6,419	△224
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	5,436	5,436	5,436	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	4,704	5,050	5,441	391
退職手当引当金繰入額	9,447	4,295	5,478	1,183
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	109,871	111,089	110,099	△990
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△104,742	△106,280	△104,282	1,998
特別収入				
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用				
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別費用 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△104,742	△106,280	△104,282	1,998
一般財源充当額	91,206	99,703	94,848	△4,855
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△13,536	△6,577	△9,434	△2,858

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表【CF】

(単位：千円)

区分	令和5年度	令和6年度 A	令和7年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	5,129	4,809	5,817	1,008
行政サービス活動支出	96,335	104,512	100,665	△3,847
行政サービス活動収支差額	△91,206	△99,703	△94,848	4,855
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	△91,206	△99,703	△94,848	4,855
一般財源充当額	91,206	99,703	94,848	△4,855
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

財務諸表の特徴的な事項

勘定科目等	特徴的な事項
【BS】 建物・工作物	事業課業務グループ庁舎の減価償却による5,436千円の減
【PL】 使用料及び手数料	し尿処理手数料 4,851千円 一般廃棄物処理業許可申請手数料 170千円 浄化槽清掃業許可申請手数料 170千円 浄化槽保守点検業登録申請審査手数料 623千円
【PL】 負担金・補助金・交付金等	し尿処理負担金 6,419千円

単位当たりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」÷「実績」)

単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度
し尿及び浄化槽汚泥等1ℓ	コスト 58円	62円	63円
	実績 1,884,240ℓ	1,794,270ℓ	1,736,410ℓ
	コスト 円	円	円
	実績		
分析内容	し尿及び浄化槽汚泥等1ℓあたり63円。 収集量の減少により単価が増加している。		

人にかかるコストの内訳

	給与関係費等(千円)	うち時間外手当等(千円)	月平均従事人数(人)
常勤・再任用	68,737	2,264	7.00
会計年度任用等	-	-	-
特別職非常勤	-	-	-
合計	68,737	-	-

分析指標

(単位：%)

分析指標	年度	令和5年度	令和6年度 A	令和7年度 B	差 B-A
施設老朽化比率		94.1	95.1	96.1	1.0
施設維持補修費比率		0.1	0.3	0.1	△0.2
経常費用対公共資産比率		21.1	21.3	21.2	△0.1
徴収不能引当率		-	-	-	-
受益者負担比率		4.6	4.3	5.3	1.0
一般財源充当比率		94.7	95.4	94.2	△1.2